

# 低圧接続ケーブル用



# 常温収縮チューブ

CVT/EM-CET/CV 単心 /EM-CE 単心

## 微調整ができる！ サイズもわかる！！

商品に「サイズマーク」あり。開梱後、サイズが混在しても大丈夫  
収縮後も、10数秒間であれば微調整が可能。



### 性能規格

商用耐電圧	3.5kV/10 分間（通電温度上昇後は1.0kV/10 分間）に耐えること
通電温度上昇	105℃/3 時間、3 回で異常のないこと
気密（外圧）	98KPa/1 時間で内部浸水がないこと

※性能は JCAA K1101 「600V 架橋ポリエチレン絶縁電力ケーブル用接続部性能基準」に準拠

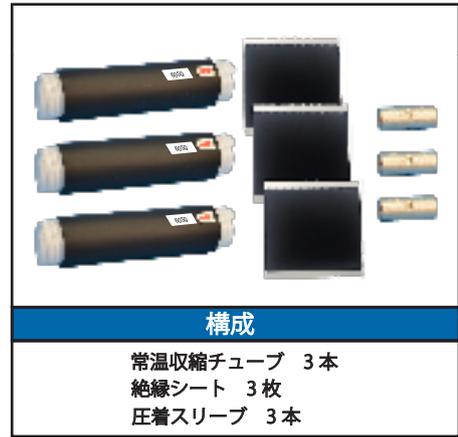
### POINT

- ・コアを引っ張れば収縮するので、施工時間が短縮できます。
- ・施工が簡単なので、狭所等でも使用可能です。
- ・施工品質の均一化が図れます。
- ・一時的な水没環境にも対応できる防水性です。
- ・環境に配慮した材質で、エコケーブルにも使用可能です。



## 杉本電機産業株式会社

導体断面積 (mm <sup>2</sup> )	品番
38	YS-38
60	YS-60
100	YS-100
150	YS-150



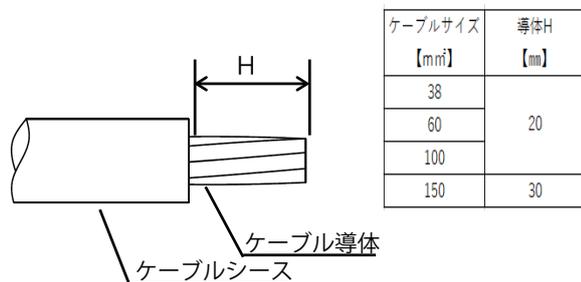
構成

- 常温収縮チューブ 3本
- 絶縁シート 3枚
- 圧着スリーブ 3本

施工手順

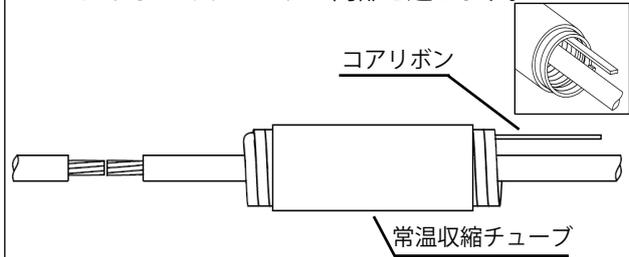
①ケーブル導体の剥き出し

導体を表に示す寸法に剥き出します。



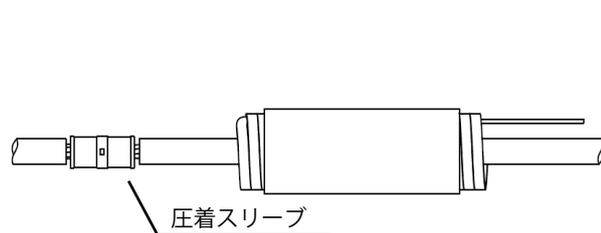
②常温収縮チューブの挿入

常温収縮チューブをケーブルに挿入します。コアリボンはチューブの内部を通します。



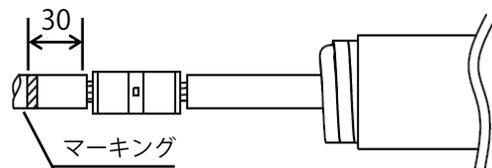
③導体の接続

ケーブルサイズに合った圧着スリーブでケーブル同士を接続します。適切な工具を使用してください。



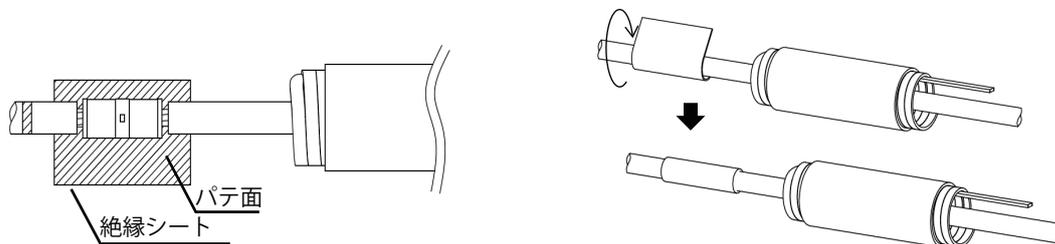
④常温収縮チューブ取付位置のマーキング

常温収縮チューブを挿入していない側のケーブルシースの端部から30mmの位置に、テープやマジック等でマーキングをします。



⑤絶縁シートの巻き付け

絶縁シートの中央が圧着スリーブの中央にくるようにセットします。絶縁シートを軽く引っ張りながら、シートが密着するように巻き付けます。



⑥常温収縮チューブの取付（コアリボンの引抜）

マーキング位置にチューブ先端を合わせ、先端が収縮するまでチューブ本体を時計回りに回転させながら、コアリボンをまっすぐ引っぱります。

先端が収縮したらチューブ先端がマーキング位置に合うようにチューブをずらします。

チューブ先端の収縮後、コアリボンを反時計回りに回転させながらコアリボンを引き抜き、チューブを収縮させます。

最後に表示シールを剥がし、チューブ表面に傷などの異常がないか確認します。

